

平成 22 年度事業計画

(平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

I. 基本方針

- 本事業計画は、当法人の公益財団法人への移行後（平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで）の予算について、取りまとめたもので、従来の平成 22 年度事業計画に沿い、各種事業を継続する。
- 公益財団法人への移行に伴い、各種規程の整備、各種マニュアルの作成を行うとともに、組織の内部統制の強化を進める。
- 本年度の予算は、以下のとおり、事業を助成事業（公 1）並びに研究業績褒賞事業（公 2）に区分して作成している。

助成事業 (公 1)	1. 研究助成 2. 海外共同研究支援助成（終了） 3. 研究会・シンポジウム開催助成（終了） 4. 海外留学奨学研究助成
研究業績褒賞 事業 (公 2)	1. 研究業績褒賞事業（うち、受賞者決定済） 2. 褒賞受賞研究テーマに関するシンポジウム開催

II. 事業内容（当該期間実施の事業のみ記載）

1. 研究助成（定款第 4 条－1）

(1) 概要：当事業は、生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究に従事する研究者に対して、助成を行うことにより、学術及び科学技術の振興を図ることを目的としている。

(2) 募集対象：日本国内在住の生命科学分野を専攻し、優秀、かつ最先端の研究をする 50 歳未満の研究者。

(3) 募集規模

a. 1 件当たり 200 万円とする。（助成期間は、2 年間）

b. 採択数：原則、新規 30 件（継続分も含め、原則 60 件）

(4) 募集方法

当法人ホームページにて、応募要領を掲載し、募集した。

(5) 応募方法

- a. 理事会により選定した全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長並びに当法人の理事・評議員・名誉理事、褒賞受賞者を推薦者とし、推薦要領、応募者選定ガイドライン、所定の推薦書を送付した。
- b. 応募者は、上述の推薦者に推薦を依頼した。
- c. 推薦者は応募者の中から、応募者選定ガイドラインに基づき、公正かつ適正に選定した。
- d. 応募者は、推薦書を取得後、所定の申請書、主要論文を当法人に応募した。
- e. 応募受付期間：平成 22 年 4 月 1 日～5 月 31 日
- f. 平成 22 年度の応募数：175 件

(6) 選考方法：理事会にて選任された、生命科学分野における有識者からなる選考委員会による選考結果をもとに、理事会にて助成対象者を決定する（12 月予定）。

(7) 研究成果の公表

- a. 助成者は、助成期間終了後、論文を当法人に提出する。
- b. 助成者の研究論文を基に、研究報告集を作成し、当法人関係者、助成者並びに大学等研究機関の図書館に寄贈する。
- c. 助成者の氏名、研究テーマを当法人ホームページにて掲載する。

2. 海外留学奨学研究助成（定款第 4 条－4）

（旧称：三共“フェローシップ”奨学研究助成）

(1) 概要：従来の当該助成では、国内留学も留学対象に含めてきたが、若手研究者の国際的学術交流を深化させるため、対象を海外留学とした。

(2) 募集対象

- a. 原則、日本国籍を有し、生命科学分野を専攻する研究者で、年齢が 35 歳以下である者。尚、医師免許取得者は 37 歳以下とする。
- b. 海外の大学等研究機関において研究に従事することを計画している者。

(3) 募集規模

- a. 1 件当たり 600 万円とする。（助成期間は、2 年間）
- b. 採択数：新規 5 件以内（継続分も含め、10 件以内）

(4) 募集方法

当法人ホームページにて、応募要領を掲載し、募集した。

(5) 応募方法

- a. 応募方法は、「研究助成」と同一。
- b. 応募受付期間：平成 22 年 4 月 1 日～5 月 31 日

(6) 今年度の応募数：17 件

(7) 選考方法

- a. 選考委員会により、候補者を決定後、面接を実施し、内定者を決定する。
- b. 理事会にて助成対象者を決定する。

(8) 研究成果の公表

- a. 助成者は、助成期間終了後、論文を当法人に提出する。
- b. 助成者の研究論文を基に、研究報告集を作成し、当法人関係者、助成者並びに大学等研究機関の図書館に寄贈する。
- c. 助成者の氏名、研究テーマを当法人ホームページにて掲載する。

3. 研究業績褒賞事業（定款第 4 条－5）

(1) 概要：当事業は、生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究の進歩発展に顕著な功績をあげ、現在、活発な研究活動を行っており、今後も一層の活躍が期待される研究者に対する褒賞を実施する。

(2) 褒賞名：高峰記念第一三共賞

(3) 褒賞対象者：生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究において、その進歩・発展に顕著な功績をあげ、現在活発な研究活動を行っており、今後も一層の活躍が期待される日本国内在住の研究者。

(4) 推薦方法

- a. 理事会において選定された全国の生命科学分野の大学院研究科長・研究所長等、研究機関長、又は、当法人の理事・評議員・名誉理事、過去の褒賞受賞者に推薦を依頼した。
- b. 推薦期間：平成 22 年 1 月 15 日～2 月 28 日

(5) 選考方法

- a. 第一次選考：選考委員会により応募候補者の選定を行った。
- b. 応募候補者に対し応募の意思の確認および応募申請の要請を行った。
- c. 最終選考

高峰記念第一三共賞審査委員会は、応募申請書及び選考委員会結果を参考に、審査基準に基づき審議し、最終候補者を選定した。

- d. 理事会において、褒賞受賞者決定済。
- e. 受賞者名、受賞研究テーマ、受賞理由を当法人ホームページにて掲載するとともに、プレスリリースを実施した。

(6) 受賞者及び受賞テーマ

- a. 受賞者：河岡義裕博士（東京大学医科学研究所教授）
- b. 受賞研究テーマ：「インフルエンザ制圧に関する研究」

(7) 褒賞の方法および贈呈

- a. 賞状、賞牌並びに副賞（1,000万円）、贈呈者数は1名。
- b. 贈呈式を実施し、表彰する（日時：平成23年2月9日、場所：東京会館）。
- c. 贈呈式において、受賞者に講演を依頼。略歴・業績集を贈呈式参加者に配布する。

4. 褒賞受賞研究テーマに関連するシンポジウム開催（定款第4条－5）

(1) 概要：高峰記念第一三共賞受賞者の業績を記念したシンポジウムを開催し、学術交流の場を提供することにより、研究の振興並びに若手研究者の養成を図る。

(2) 名称：高峰カンファレンス

(3) 開催の内容

- a. テーマ：「最先端のウイルス研究」
- b. 開催時期：平成23年2月18日
- c. 開催場所：東京会館
- d. プログラム：受賞者による記念講演及び関連講演。
- e. 出席者：座長および演者の他、出席者100名以内（シンポジウムテーマを研究する研究者等）
- f. 募集方法：募集期間を設定し、ポスター配布、当法人ホームページより参加者を募る。募集期間中、申請者が定員になり次第、募集を締め切りする。
- g. 開催終了後の成果物：実施内容を当法人ホームページへ掲載する。

III. 事業概要

	事 業	金 額	備 考
助 成 事 業	研究助成 (定款第4条-1)	61,000 千円	平成21年度 @100万円×28件 平成22年度 @100万円×33件
	海外留学奨学研究助成 (定款第4条-4)	9,000 千円	平成21年度 @50万円×3回×2件 平成22年度 @50万円×3回×4件
	その他助成事業費	16,101 千円	
	助成事業計	86,101 千円	
研 究 業 績 褒 賞 事 業	褒賞費 (定款第4条-5)	12,000 千円	
	シンポジウム開催 (定款第4条-5)	8,277 千円	第27回高峰カンファレンス
	その他研究業績褒賞事業費	8,384 千円	
	研究業績褒賞事業計	28,661 千円	
	合 計	114,762 千円	